

Laminar  
Research



aeroSOFT™

FLIGHT SIMULATOR  
**XPLANE11**

Manual



## クイックスタートガイド

この章は、X-Planeを初めて使用するユーザーが、シミュレーターを起動してからすぐに使い始められるように構成されています。インストールが完了してから10分以内に、シミュレーターの基本要素を覚えて、飛び立てるようにすることを目標にしています。

この章では、背景情報について解説し、後で覚えられるオプションについては省略しています。デスクトップ版のX-Planeがすでにインストールされていて、シミュレーターをデフォルトのレンダリングオプションで動かせる状態になっていることを前提としています。最新のシステム要件については、X-Planeナレッジベースの「[X-Plane 11 システム要件](#)」を参照してください。

Windows版とMac OS X版のインストールとでプロセスが異なる場合には注記が添えられています。

飛行操作に慣れてから、マニュアルに完全に目を通すか、または参考用に保管しておいてください。このガイドを読み進める中で問題に遭遇した場合は、マニュアルを参照してください。マニュアルにその問題の対処方法がすでに記載されていることがあるため、カスタマーサポートに電話するよりも効率的に問題を解決できることがあります。

X-Planeのインストールおよび設定に関する詳細は、「[前準備とインストール](#)」および「[インストールしたX-Planeの設定と調整](#)」の章を参照してください。ジョイスティックの設定に関する詳細は、「[インストールしたX-Planeの設定と調整](#)」を参照してください。また、機体の設定と操縦に関する詳細は、「[X-Planeで飛行](#)」の章に記載されています。

### X-Plane11のインストール

インストール前に、X-Planeの旧版またはデモ版のアンインストールを推奨しています。古いX-Planeフォルダーを「ゴミ箱」にドラッグするだけで、アンインストールが完了します。

1. 1枚目のX-Plane DVDをDVDドライブに挿入して、DVDが回り出すのを待ちます。

デジタルダウンロード版のプロダクトキーを購入済みの場合は、[最新のX-Planeインストーラー](#)をウェブサイトからダウンロードします。その後、インストーラーを起動して、ステップ3へ進みます。

2. X-PlaneのDVDインストーラーが、Windowsのオペレーティングシステムによって自動的に起動しない場合は、[スタート]メニュー>[マイ コンピューター]をクリックします。  
[X-PLANE11 DVD]をダブルクリックしてから、「X-Plane 11 Installer.exe」をクリックします。

Macの場合は、デスクトップの[X-Plane DVD]アイコンをダブルクリックしてから、[X-Plane 11 Installer.app]をダブルクリックしてインストーラーを起動します。

3. インストーラー画面が表示されたら、[次へ]をクリックして、インストールプロセスを開始します。

4. デジタルダウンロード版のプロダクトキーを購入した場合は、後続の画面にそれを入力します。インストール中は常にインターネットに接続している必要があります。
5. X-Planeのデフォルトのインストール先はデスクトップです。どこにでも保存できますが、今後すぐにみつけれられるよう、デスクトップに置いておくことをお勧めします。このガイドでは、デスクトップに置かれていることを前提として説明しています。[次へ]をクリックします。
6. ユーザー同意を承諾して、[次へ]をクリックします。匿名で利用状況データを送信するというボックスにチェックを入れることを強くお勧めします。Laminar Research は、利用状況に基づいて収集した匿名データをシミュレーターのアップデートに役立てます。

図2.1 : [すべて選択] で、すべてのシーナリーを選択した状態

7. インストールするシーナリーを選択します。選択した地域はブライトブルーになります（図2.1では全大陸を選択しています）。シーナリーがインストールされていない地域には、海と空港のみが表示されます。

選択したかしないか分からない場合は、[選択解除] をクリックすれば、すべての選択が解除されます。そこから、マウスを地図の上で動かして、インストールしたい地域をハイライトした状態でクリックします。

図2.2 : [選択解除] をクリックしてシーナリーの選択がすべて解除された状態

8. シーナリーの選択が完了したら、[次へ] をクリックして、インストールを開始します。

インストーラーが起動して、進捗度が表示されます。DVD版の場合、インストーラーが、完了したディスクを取り出して次のディスクを入れるタイミングを指示します。DVDのインストールの所要時間は、ディスクあたり3~6分です。1回に1枚のDVDをインストールできます。DVDドライブが2つある場合に、各ドライブに1枚ずつ入れてもインストーラーは認識しませんのでご注意ください。デジタルダウンロードの所要時間は、最初のネットワーク速度に基づいて計算されるため、実際のインストール時間とは大きく異なることがあります。

シーナリーパッケージは全体で、60 GBほどのスペースを要するため、インストールには時間がかかります。そのため、その時点で必要なだけのシーナリーをインストールして、後で改めて他のシーナリーをインストールすることを強くお勧めします。

シーナリーは、インストーラーを実行すれば、いつでも追加または削除できます。DVD版の場合には、Disc 1を挿入します。デジタルダウンロード版の場合はX-Planeがプロダクトキーを覚えていません。そうでない場合は、プロダクトキーを要求されるときに入力してください。X-Systemインストーラーから「X-Plane 11はすでにこのコンピューターにインストール済みです」というメッセージが表示されたら、[シーナリーの追加または削除] ボタンをクリックして、上述のステップ7と同様の手

順に進めてください。

注記：Macユーザー：インストール完了後、Time MachineバックアップからX-Planeのインストールディレクトリを削除することをお勧めします（「前準備とインストール」の章の「Macユーザー向けの注意事項」のセクション参照）。

X-Planeを初めて起動する場合

1. USBジョイスティックが差し込まれていることを確認します。操縦装置（ジョイスティックなど）は、ハブではなく、マシンに直接接続して、起こり得る問題を回避することをお勧めします。
2. DVD版の場合は、Disc 1をDVDドライブに入れます。
3. （デフォルトでデスクトップにある）X-Planeフォルダーを開き、Windowsの場合は「X-Plane.exe」を、Macの場合は、「X-Plane.app」をそれぞれダブルクリックします。
4. デジタルダウンロード版の場合は、プロダクトキーを入力します。（インストール時に）プロダクトキーを事前に入力した場合は、自動的にフィールドに入力された状態で表示されることがあります。「許可」をクリックすると、X-Planeが先へ進みます。プロダクトキーを入力せずに、またはDVDをドライブに挿入せずに、シミュレーターを起動すると、強制的にデモモードのみで実行することになります。

デジタルダウンロード版のプロダクトキーに問題がなければ、X-Planeがそのままバググクラウドで認証サーバーと通信します。つまり、ネット接続が良好で、プロダクトキーがロックされていない場合には、それ以降にプロダクトキーの入力を求められることはありません。

X-Planeを初めて起動すると、フライトの基本要素とX-Planeの使い方についてチュートリアルが表示されます。説明を読み進むか、または[スキップ]ボタンを使用してチュートリアルを省略します。

ヨーク/ジョイスティック機能の基本設定

最初の起動時に、コントローラー（操縦装置）が接続されている場合は、その場で自動的に設定されます。未調整のジョイスティックやヨークの場合は、[ジョイスティック調整を開く]ボタンをクリックして、以下のステップに従います。

注記：ヨークやジョイスティックがない場合にマウスを使うことは可能ですが、実感が湧かず、操作が面倒です。マウスを使用する場合は、「[飛行の設定](#)」のセクションへ進んでください。

1. [調整] または [今すぐ調整] ボタンをクリックします（必要に応じて）。

図2.3：新しいヨークの調整画面

2. デバイスの各軸を全可動域で動かします。どのレバーも、スティックまたはヨークもそれだ

けで動かしてください。

3. [次へ] ボタンを押して、センタリグ画面へ進みます。コントローラーから手を放し、再び [次へ] をクリックして、タイマーが切れるまで待ちます。
4. [完了] をクリックして、調整画面を閉じ、メインのジョイスティック画面に戻ります。

図2.4 : 調整完了後のジョイスティック設定画面

5. 自動調整中に正しく認識されなかった軸がある場合は、右側の制御カラムのドロップダウンメニューで設定できます。
6. [編集] ボタンをクリックして、ブレーキの切り替えなどの機能をジョイスティックのボタンに割り当てます（ラダーペダルを使用していない場合）。よく使う操縦機能について、どのボタンに機能が割り当てられているか分からない場合は、左側のラベルが付いた画像を参照してください。
7. リストを検索（例えば「スクリーンショットを撮る」など）またはスクロールして、割り当てるコマンドを見つけます。見つけたら、[適用] をクリックします。
8. ボタンへの機能割り当てが済んだら、[完了] ボタンを押して、ジョイスティック画面を閉じます。

ジョイスティック画面に戻る場合は、画面右上の設定アイコンをクリックして、[ジョイスティック] セクションを選択すると、いつでもアクセスできます。

## 飛行のセットアップ

X-Planeを立ち上げると最初に、メインメニューが表示されます。ここから、プログラムの終了、前回のフライトの再開、新しいフライトの開始、保存したフライトのロード、またはチュートリアルフライトスクールを選択できます。X-Planeを初めて使用する場合や、初めて飛行する場合には、この最後のオプションのフライトスクールから開始されることをお勧めします。そうでない場合は、[新規フライト] オプションをクリックして、好みの飛行を新たにセットアップする飛行設定画面を開きます。

図2.5 飛行設定画面

左側のリストから飛行機を選択します。画面上部のドロップダウンメニューまたは検索バーを使用して、オプションを絞り込むことができます。飛行機ボックスの右上にある星印をクリックしておくと、次回にこの画面を開くときに、お気に入りの飛行機としてリストの一番上に表示されます。

画面左上の [場所] ボックスで空港を選択します。これは、空港名、ICAO/FAA/IATAコード、または特徴（「舗装されていない滑走路」など）で検索できます。[カスタマイズ] ボタンをクリックすると、滑走路または駐機場のどちらかを指定できます。

[天候] ボックスのスライダーを動かして、8種類のプリセットの中から、雲量や雨天などの設定を調

整します。時刻についても同様に調整します。

準備ができれば、[フライト開始] ボタンをクリックして、飛行を開始します！

飛行の各要素に関する詳細は、[フライトのセットアップ] のセクションのカスタム画面のオプションを参照してください。

### X-Planeのアップデート

X-Planeをアップデートすると、最も安定度の高い、機能豊富なバージョンを使用できます。X-Planeの同一バージョン内でのアップデート（例えば、11.0から11.1、11.2にする場合など）は無料ですので、すべてのユーザーにお勧めです。

アップデートがリリースされると、X-Planeの起動と同時に「アップデートがあります」というメッセージが表示され、[無視] または [アップデート] のどちらかを選択できます。[アップデート] をクリックすると、X-Planeが自動的にダウンロードを開始して、最新のインストーラーまたはアップデーターが立ち上ります。インストーラーの指示に従い、X-Planeを最新バージョンにアップデートします。

使用中のシミュレーターのバージョンを確認する方法：

1. [設定] > [全般] を選択します。
2. 画面左下の [X-Planeについて] ボタンをクリックします。
3. [X-Planeについて] というセクションにバージョン番号が記載されています。アップデートがある場合には、[X-Planeのアップデート] ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、X-Planeが自動的に最新のアップデーターをダウンロードして、実行します。